

支持率狙い「よくない」

元外交官
田中氏 首相の北朝鮮外交批判

小泉純一郎元首相の初訪朝時に黒子役を務めた元外務審議官の田中均氏が27日夜、横浜市内で講演し、岸田文雄首相の対北朝鮮外交について「内閣支持率を上げるために扱つのはよくない」と批判した。

北朝鮮の金与正朝鮮労働党副部長が日本側との接触や交渉を拒否するとして、談話を出したことに触れ、「これは恥ずかしい。外交は結果をつくる作業であり、大きな流れがないとできない」と指摘。談話では、

岸田首相が金正恩総書記と会談したいとの意向を伝えたと明かしており、首相に対し「総理大臣が来ると流れが作れるというのは大間違いだ」と述べた。

北朝鮮側が「解決済み」と主張する拉致問題について、田中氏は「政治と切り離さなければならぬ。そうでないと問題は永久に解決できず、(北朝鮮で)生きている人が帰って来られない」との見解を示した。

田中氏は外務省アジア大洋州局長として北朝鮮高官と1年にわたり対話を重ねて信頼関係を構築し、2002年9月、史上初の日朝首脳会談と日朝平壤宣言の実現につなげた。日本総研国際戦略研究所理事長を経て現在は特別顧問。講演は一般社団法人「勁草塾」(斎藤勤代表理事)が主催した。



講演する田中均氏

27日夜、横浜市中区

(三木 崇)